

第3回 水島港カーボンニュートラルポート部会 次第

日時：令和8年1月27日（火）

10：30～11：30

会場：倉敷市環境交流スクエア
西棟4階 環境学習室

開 会

議 事

1 水島港港湾脱炭素化推進計画（案）について

- (1) 事務局説明
- (2) 意見交換

2 その他

閉 会

【配布資料】

- ・ 第3回 水島港カーボンニュートラルポート部会 次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 配席図
- ・ 水島港港湾脱炭素化推進計画（案）について
- ・ 水島港港湾脱炭素化推進計画（案） 本文
- ・ 水島港カーボンニュートラルポート部会設置要綱

「第3回水島港カーボンニュートラルポート(CNP) 部会」を開催しました

- 港湾地域は、輸出入貨物の99%以上を取り扱い、県内のCO2排出量の約半分を占める産業の多くが立地する脱炭素化ポテンシャルの高い地域であることから、水島港及び水島コンビナートにおいて、脱炭素化に向けた取組を行うことは、本県のカーボンニュートラルの実現に、非常に効果的・効率的であると考えております。
- この度、水島コンビナート発展推進協議会カーボンニュートラルネットワーク会議設置要綱に基づき、3回目の「水島港カーボンニュートラルポート部会」(以下、本部会という。)を開催し、水島港港湾脱炭素化推進計画(案)をお示しました。

開催概要

【開催日】 2026年1月27日(火)10:30～11:30

【場 所】 倉敷市環境交流スクエア

【議 題】 水島港港湾脱炭素化推進計画(案)について

【参加者】 別紙参照

【議事概要】

- 水島港港湾脱炭素化推進計画(案)に関する説明が行われました。
- 水島港港湾脱炭素化推進計画の策定目的や素案からの主な変更点、概要およびロードマップに関する説明が行われました。
- 意見交換の内容
 - ・地球温暖化対策計画が改定され、「日本のNDC(国が決定する貢献)」では、目標年次が2035年となり、時間軸に変化があるものの、岡山県地球温暖化対策実行計画の目標年次と整合し、取組を進めていく。
 - ・水素の需要・供給目標を達成できるよう、水素供給ができる港湾の環境整備等、企業と連携して実施していく。
 - ・策定以降も各主体が取組を着実に実施し、PDCAサイクルに基づいた定期的なフォローアップや計画の更新などに努めていく。中国地方整備局としても継続して協力体制をとっていく。



水島港



岡山県 土木部港湾課長



会議開催状況

【別紙】「第3回水島港カーボンニュートラルポート(CNP) 部会」参加者

区分	企業名／団体名
有識者	国立大学法人岡山大学
	化学工学会地域連携カーボンニュートラル推進委員会
関係企業	旭化成(株) 製造統括本部水島製造所
	岩谷瓦斯(株) 生産本部水島工場
	ENEOS(株) 水島製油所
	(株)クラレ 倉敷事業所
	JFEスチール(株) 西日本製鉄所
	中国電力(株) 水島発電所
	日本ゼオン(株) 水島工場
	水島ガス(株)
	三菱ガス化学(株) 水島工場
	三菱ケミカル(株) 岡山事業所
	三菱自動車工業(株) 水島製作所
	水島港国際物流センター(株)
関係団体	一般社団法人岡山県トラック協会
	水島港運協会
関係行政機関	国土交通省中国地方整備局
	岡山県
	倉敷市
オブザーバー	一般社団法人中国経済連合会